



発行機関：熊本県中央家畜保健衛生所  
 住所：熊本市南区城南町沈目1666-1  
 TEL：0964-28-6021  
 E-mail) chuoukaho@pref.kumamoto.lg.jp  
 HP address) http://www.pref.kumamoto.jp/kahochuou



【注意喚起】牛の異常産について

牛の異常産の原因となるウイルスは、蚊やヌカカ等の吸血昆虫が媒介します。予防には、吸血昆虫が活動する前に繁殖牛に異常産ワクチンを接種することが有効です。今年度は、九州各県でアイノウイルスやイバラキウイルス等の抗体陽転が確認されており、今後、特に注意が必要です。

家畜保健衛生所では、異常産の事例について、ウイルス感染の有無や栄養状態の検査等を実施しておりますので、異常産を確認した場合は御連絡ください。

＜主な異常産関連ウイルス病について＞

疾病名	アカバナ病	アイノウイルス感染症	チュウザン病
発生時期	夏～翌年春	夏～翌年春	秋～翌年春
臨床症状			
	水無脳症（大脳欠損や小脳欠損）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流産 ・早産 ・死産 ・脊柱のわん曲</li> <li>・起立困難 ・盲目等の神経症状</li> </ul> ※ピートンウイルス感染症も同様の症状		<ul style="list-style-type: none"> <li>・虚弱、盲目、起立不能</li> <li>・体形異常はない</li> </ul> ※ディアギュラウイルス感染症も同様の症状

年末年始の死亡牛レンダリング処理及びBSE検査の対応について

熊本蛋白ミール公社及びBSE検査所の年末年始の対応については、右表のとおりです。

飼養する牛が死亡したら、熊本蛋白ミール公社へ搬入時間の連絡をお願いします。

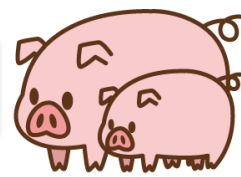
(株)熊本蛋白ミール公社  
 TEL：0968-26-3766

月	火	水	木	金	土	日
12/23	24	25	26	27	28	29
業務	業務	業務	業務	業務	業務 (午前のみ)	休業
30	31	1/1	2	3	4	5
業務	休業	休業	休業	休業	※特別業務	休業

※1月4日(土)は、午後も開所します。

業務時間 午前8：30～11：30 午後1：00～3：00（時間厳守）

# CSF（豚コレラ）に関するQ&A



Q1 CSF（豚コレラ）は人に感染しますか？

A. CSFは、豚やイノシシの病気であって、人に感染することはありません。また、感染した豚の肉が市場に出回ることもありません。仮にCSFに感染した豚の肉を食べても、人体に影響はありません。

Q2 平成30年（2018年）9月以前に国内での発生事例はありましたか？

A. 明治20年（1887年）、国内で初めてCSFの発生が確認されました。昭和44年（1969年）にワクチンが開発され、発生が激減し、平成4年（1992年）を最後に発生は確認されていませんでした。

Q3 平成30年（2018年）9月以降どのような対策を行ってきましたか？

A. 農場においては、衛生管理の徹底、早期出荷、防護柵の設置等の対策を行っており、野生イノシシに対しては、捕獲強化や経口ワクチンの散布などの対策を実施してきました。今般、野生イノシシで感染が確認されるなど感染リスクが高い地域において、豚へのCSFワクチン接種を開始しました。

Q4 CSFワクチンを接種した豚の肉を食べた場合、人の健康に影響ありますか？

A. ワクチンを接種した豚の肉を食べても人の健康に影響はありません。今回使用するワクチンは『医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号。旧「薬事法」）』に基づき、有効性及び安全性が担保されています。平成18年（2006年）まで37年にわたって国内の豚に広く使用していましたが、人の健康に影響があったという報告はありません。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日月日
口蹄疫	0型	ミャンマー（13件）	牛	令和元年（2019年）10月1日 ～令和元年（2019年）10月30日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N5	台湾	家きん	令和元年（2019年）9月9日
	H5	台湾	家きん	令和元年（2019年）10月27日
ASF （アフリカ豚コレラ）		中国（3件）	豚	令和元年（2019年）11月1日 ～令和元年（2019年）11月30日

令和元年（2019年）12月1日時点



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

